

# 子ども支援農園通信

☆ 緑・食育・地域交流 ☆

子ども支援農園 (区民活動グループ)

発行責任者 高田 良浩

横浜市栄区公田町 1 6 3 2

広報担当 河辺 信幸

## 子ども支援農園 20 周年 記念式典の実施

6 月 1 日に北桂台の農園で 20 周年記念式典を実施しました。天気にも恵まれ多数の来賓にお祝いの言葉をいただきました。

また当日は一般の方々への玉ねぎ、ジャガイモの収穫体験を実施し小さなお子さんをはじめ大勢の方に楽しんでいただきました。収穫体験の収益は能登半島地震被災者の方への寄付として目録を社会福祉協議会にお渡しいたしました。

(6 月 13 日の港南区・栄区版タウンニュースに記念式典当日の様子が掲載されました)



### 記念式典を終えるにあたり

実行委員長 木村知恵子

子ども支援農園は今年 3 月に 20 年を迎えました。人間で言えば二十歳の成人式となります。ぜひ、この事を知って戴き皆さんと共に祝いしたいと考えました。

玉ねぎ、じゃがいもの収穫体験をしていただき、土と触れ合い楽しんで頂くのが一番でしょう。又、畑で取れたての新鮮な玉ねぎ、じゃがいもを使った「カレーライス」も食べて戴こうと思いは膨らんでいきました。

いつにしたらいいのか、会場は何処にと膨らむ思いとは別に色々なことが頭をよぎり、中々前に進みません。

桂台地域ケアプラザで調理室、食堂をお借りできることとなり一安心でした。6 月 1 日が雨の時は 2 日もお借りできるのは本当にラッキーでした。式典、招待者、収穫体験、記念品、調理していただける方々も整い良いお天気を願いつつ準備を重ねました。

前日の雨は何処へやら、良いお天気にまず 50% の成功確率の手ごたえでした。

子どもたちの声と笑顔がとてもまぶしく感じられ、皆いい顔しているなどと思うほどでした。

美味しいカレーライスを戴き、やって良かった、楽しんでいただけたと達成感がありました。

畑の近隣の方々にはいつもお騒がせ、ご迷惑をおかけしていますが、快く受け止めて戴けていることを感じています。

近隣の皆様あつての、子ども支援農園です、これからの未来を背負う子どもたちの食育の為に皆様のお力をお借りして前に進みたいと思います。

## 小学生の収穫体験

6 月 6 日に桂台小学校 2 年生、3 年生の児童の皆さんによる収穫体験を実施しました。

例年は 2 年生による収穫体験のみを実施していましたが今年は今回収穫する玉ねぎを昨年の暮れに植え付けてくれた当時の 2 年生 (現 3 年生) にも参加してもらいました。さすがに 2 年連続での収穫体験であり「去年のよりも大きいね」と喜ぶ姿が印象的でした。

また今年の 2 年生には玉ねぎに加えてジャガイモの収穫を体験してもらいました。簡単に引き抜ける玉ねぎとは勝手が違って一生懸命に畑を掘り起こしながらジャガイモ探しに格闘する姿にはほほえましさを覚えました。

3 年生→



←2 年生



### 食育 20 周年記念 子ども支援農園



タッチーいも

※五はたらきマスケットツクリくん

6 月 8 日には学童保育の一環として地域の児童に玉ねぎの収穫を体験していただきました。

### 農園の今後のイベント

10 月 12 日の桂台自治会秋祭りに「マルシェ」を出店予定であり出品予定のサツマイモやダイコンなどの栽培を早速始めます。

また 11 月には桂台小学校 2 年生による収穫体験と苗の植え付け体験を実施する予定です。

### 農園からのお願い

子ども支援農園ではスタッフが高齢化するとともにメンバーが減少しつつあり活動継続に危機感を抱いています。せっかく 20 周年を迎え今後とも活動を継続していくためには新しいスタッフの参加が急務となっています。

畑仕事や野菜の栽培に興味がある方、子どもたちの食育活動を応援してみようと思われる方はどなたでもお気軽にご連絡ください。